

新製品インフォメーション

2018年2月発売予定

北陸地区で活躍の521系3次車を製品化



写真:久保田 敦

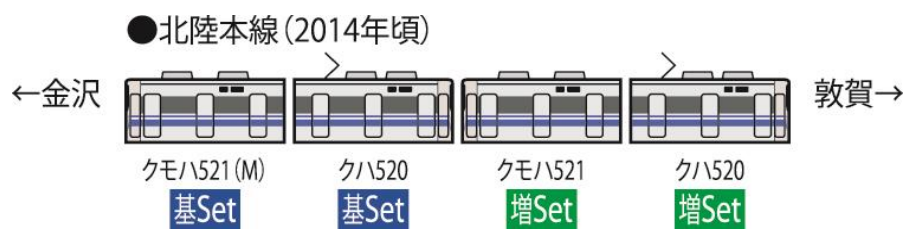
◆実車ガイド

- 521系は2006年より運行を開始した近郊電車で北陸地区を中心に普通や快速列車として運行されています
- 521系3次車は2013年に登場した車両で、従来の521系から前頭部のデザイン変更や前頭部転落防止幌の設置などモデルチェンジが行われました
- 最短の2両編成から2編成連結した4両編成で運行されています

◆製品化特徴

- 521系3次車を新規製作で再現
- 前面の転落防止幌は別パーツで再現
- スカートは新規製作で再現
- 前面表示パーツは印刷済みパーツ装着済み、交換用パーツ付属
- JRマークは印刷済み
- ヘッド・テールライトは白色LEDで点灯
- ヘッド・テールライトON-OFFスイッチ付
- 先頭車運転台側のみTNカプラー(SP)装備
- 車番は転写シートで選択式(基本セットに付属)
- フライホイール付動力
- 新集電システム・銀色車輪採用

■セット内容・編成例



<別売りオプション>

室内灯:<0755>LA+<0756>LBまたは、<0733>LC(白色)
TNカプラー:<0337>密連形

<98042>	JR 521系近郊電車(3次車)基本セット	(2両)	予価 ¥10,000(税抜)
<98043>	JR 521系近郊電車(3次車)増結セット	(2両)	予価 ¥7,400(税抜)

オハフ15-200展望車を追加した姿を新規製作で再現



写真:宇都宮 靖顕

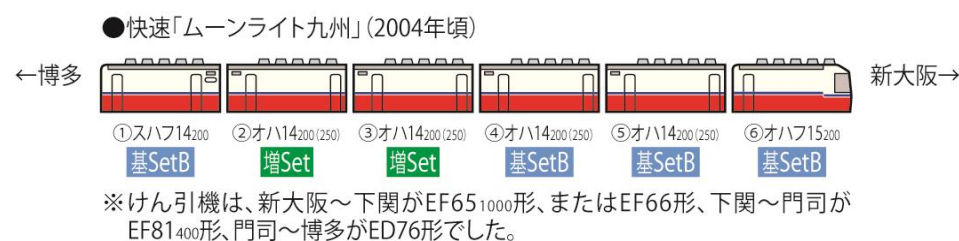
◆実車ガイド

- 1972年に登場した14系座席車は、12系客車をベースとしながらも、同時期の183系特急形電車に準じた仕様となっており、側窓は大きな二重固定窓とされ、座席は簡易リクライニングシートを備えています
- JR西日本では1988年にシユール号に用いるために改造を施し、外観塗色の変更や、荷物置場の設置などが行われ、オハフ15については展望室の取付改造が行われました

◆製品化特徴

- オハフ15-200形展望車を新規製作で再現
- 側面窓が一カ所埋められた姿を再現
- 全車Hゴムは黒色で表現
- 車番は転写シートで選択式
- スハフ14の発電用エンジン別部品グレーで再現
- テールライト・トレインマーク白色LEDによる点灯、常点灯基板装備
- トレインマークは「ムーンライト九州」印刷済み
- 新集電システム・黒色車輪採用

■セット内容・編成例



<別売りオプション>

室内灯:<0755>LAまたは、<0733>LC(白色)
TNカプラー:<0374>密自連形

<98274>	JR 14200系客車(ムーンライト九州)基本セットB	(4両)	予価 ¥11,000(税抜)
<98247>	再生産 JR 14200系客車(ムーンライト九州)増結セット	(2両)	予価 ¥3,600(税抜)

TOMIX